

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	EX577／政治学基礎演習 (Introductory Seminar on Political Science)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	多文化社会を生きるということ／『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』1・2を読む。		
担当者名 (Instructor)	笠井 昭文(KASAI AKIFUMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX2910	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	その他登録		

授業の目標(Course Objectives)

1. レポート作成やグループ・プレゼンテーションを通じて、学生にとって必要となる基礎的技術の向上を目指します。2. テキストの報告と議論を通じて、多文化社会を生きるとは具体的にどのような出来事を経験することなのか、様々な問題を乗り越えていく上でどのような発想や工夫が必要となるのかについて考えます。3. 以上の目標を通じて、現代社会の諸問題について、自ら考え、自分の言葉で表現しようとする人間を育てたいと思います。

1) Through report writing and group presentations, this course aims to improve the fundamental skills that students need. 2) This course will examine questions through textbook reports and discussions, what kind of events do we specifically experience to live in a multicultural society, and what kind of ideas and ingenuity do we need to overcome various problems. 3) Through the objectives described above, I would like to train people who can think on their own about the various problems in contemporary society and who try to express their ideas in their own words.

授業の内容(Course Contents)

この演習は、大きく二つの部分から構成されています。一つは、「法学部ラーニングガイド」や「Master of Writing/Presentation」で紹介されている学生にとって必要な技能を、グループ・プレゼンテーションを行ったり、個人でレポート作成を進めたりすることで、一年次の内に実践的に身に付けてもらうことです。もう一つは、テキストである『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』の報告と議論を通じて、思春期の子どもとその保護者が体験した多文化社会で起きる様々な出来事と、彼らなりの対処方法について考えていくことです。それはまた、異なる文化の人々が共に生きていく際に必要となる知恵や配慮についても検討していくことになるでしょう。

演習で取り組む課題は難しいものではありませんが、演習の時間以外においても、自ら調べ、学生同士で議論し、自分の言葉で書くことが求められる「出力」重視の演習です。得られる単位は2単位だけですから、単位取得効率の点から言えば甚だ「燃費」の悪い演習ですが、ジャーナリストなど、自らの考えを深め、それを他者に伝える技能を身に付けたいと考える学生にとっては、有意義な経験ではないかと思えます。

The seminar is composed of two sections. In the first section, students will learn in a practical manner the fundamental skills which are required as a student during the first year by following the steps to carry out tasks such as preparing a presentation and creating a report. In the second section, I would like to think about various events that occur in a multicultural society captured by adolescents and their parents, and how to deal with them. It will also consider the wisdom and consideration that people of different cultures need to live together.

The assignments in this seminar will not be difficult, but this seminar will be an “output”-oriented exercise in which students research themselves, discuss with each other, and write in their own words even outside of the seminar time. Since only two credits will be received, in terms of the efficiency of acquiring credits, this seminar has poor “fuel efficiency”. But I think this exercise is a meaningful experience for journalists and other students who want to deepen their thoughts and acquire the skills to convey them to others.

授業計画(Course Schedule)

1. アイスブレイク、ガイダンス
2. 小レポートへの相互評価、プレゼンのためのブレイン・ストーミング
3. 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』報告と討論
4. プレゼン準備、『ぼくはイエローで…』報告と討論
5. プレゼン準備、『ぼくはイエローで…』報告と討論
6. プレゼン準備、『ぼくはイエローで…』報告と討論
7. グループ・プレゼンテーションの実施
8. ゼミレポートの準備
9. 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2』報告と討論
10. 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2』報告と討論
11. 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2』報告と討論
12. 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2』報告と討論

13. レポート講評会の実施
14. 多文化社会を生きる上で意識すべき事柄についての討論

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

履修者は毎回、テキストをしっかりと読んで上で参加して下さい。文献の報告については、担当者を決め、分担して報告してもらいます。また、小レポートの執筆、レポート評価シートの作成、グループ・プレゼンテーションの準備作業とプレゼンの実施、ゼミレポート集の作成、レポート講評会での書評報告といった課題を予定しています。準備に時間をかければ、いずれも難しい課題ではありません。

成績評価方法・基準(Evaluation)

テキストの報告と議論への参加(40%) / プレゼンテーションの準備作業と発表(30%) / 小レポートおよびレポート集への原稿作成(30%)

すべての課題を達成して、初めて成績評価の対象とします。正当な理由がない4回以上の欠席は、D評価です。

テキスト(Textbooks)

1. ブレイディ みかこ、2021、『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』、新潮社・文庫版 (ISBN:978-4101017525)
2. ブレイディ みかこ、2021、『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 2』、新潮社 (ISBN:978-4103526827)

参考文献(Readings)

演習の中で随時紹介します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

<選考方法>

採用人数:12名程度

配当年次:1年次

選考方法:レポート

- ① 題目:取り上げるテキストないしテーマに対する自分自身の関心と、この演習への志望動機について報告して下さい。
- ② 字数:1400字程度(40字×36行、A4用紙1枚程度)

演習計画は、履修者数や学生の関心に配慮して随時組み替えていきます。

注意事項(Notice)